安全データシート

作成日　2004年08月25日
改訂日　2014年11月05日

製 品 名：Surfactants (nonion.) Cell Test Method: photometric 0.10 - 7.50 mg/l Triton® X-100 Spectroquant®

１．化学品及び会社情報

製品番号　：101787
製　品　名　：Surfactants (nonion.) Cell Test Method: photometric 0.10 - 7.50 mg/l Triton® X-100 Spectroquant®
製品和名　：スペクトロクァント® 非イオン界面活性剤 セル テスト 測定原理： 測光分析 0.10 - 7.50 mg/l Triton® X-100
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1－8－1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）　：　区分4
発がん性　：　区分2
特定標的臓器毒性（単回暴露）　：　区分2

シンボル

注意喚起語　　警告

危険有害性情報

H302　飲み込むと有害
H351　発がんのおそれの疑い
H371　臓器の障害のおそれ

注意書き

P281　指定された個人用保護具を使用すること。
P309+P310　ばく露した場合又は気分が悪い場合：直ちに医師に連絡すること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
ジクロロメタン	64.0%	CH_2Cl_2	(2)-36	公表	75-09-2	200-838-9
メタノール	5.4%	CH_3OH	(2)-201	公表	67-56-1	200-659-6

４．応急措置

一般的注意事項：

手当てを行う際は、適切な保護具等を着用のこと。

吸入した場合：

直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行う。
必要ならば、酸素吸入を行う。
直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
必要ならば、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
嘔吐している場合は注意。
吸気の危険性があり、気道を確保すること。
直ちに医師の診察を受ける。
活性炭(20-40gの10%懸濁液)を与える。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：
脂肪族炭化水素は一般に、酩酊、心臓血管障害をおこす。
刺激作用用、呼吸器麻痺、呼吸低下、眠気、目まい、意識不明、昏睡、酩酊、中枢神経障害、吐き気、嘔吐、頭痛、視力障害、結膜炎、興奮、角膜混濁のおそれ

医師に対する特別な注意事項：
メタノール誤飲を告げる。

５．火災時の措置

消火剤：
周辺の貯蔵品に適用される消火剤

不適な消火剤：
特になし

特有の危険有害性：
不燃性
蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。
火災時に有害な蒸気を発生する。

副生成物：
塩化水素ガス，ホスゲン

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
霧状水で、発生する蒸気等の拡散を抑制する。
消火に用いた排水による、河川や地下水の汚染を防ぐ。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
漏出物との接触を避ける。
蒸気を吸い込まないように注意する。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
排水口をふさぎ、飛散した漏出物は集め、ポンプで回収する。
吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

その他：
廃棄物の処理については第13項を参照のこと。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

衛生対策：
Sec.8　ばく露防止措置の衛生対策　参照のこと。

保管：
容器は気密性を保つ。
常温(15～25℃)で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：

設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
関係法規に従い、十分な設備対策を行う。

衛生対策：
適切な保護具を着用し、安全に取り扱うこと。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為の処置を講ずること。

保護具：

保護眼鏡：
保護メガネを使用する。

保護手袋：
保護手袋を使用する。

呼吸用保護具：
蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

その他：
保護具は、作業場所、有害物の使用量や濃度に応じて選択すること。

９．物理的及び化学的性質

形　状	液体
色	データなし
臭　い	特異臭
密　度	適用外
蒸 気 圧	データなし
沸　点	データなし

引　火　点　：データなし
自然発火点　：データなし
爆 発 限 界　：下限　データなし
　　　　　　　　上限　データなし
溶　解　性　：データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：
熱に敏感である。
光に敏感である。
安定剤を含有する。

危険有害反応可能性：
爆発するおそれ:
アルカリ金属、アルミニウム、窒素酸化物、二酸化窒素、カリウム、アジ化ナトリウム、過塩素酸、硝酸、塩化アルミニウム、アミン、酸素(液化ガスとして)、芳香族炭化水素/アルミニウム粉
発熱するおそれ:
アルカリ土類金属、金属粉、アミド、アルコラート、非金属酸化物、カリウムtert-ブトキシド

避けるべき条件：
データなし

混触危険物質：
金属，プラスチック，ゴム，軽金属，軟鉄

危険有害な分解生成物：
火災時：第5項を参照のこと。

１１．有害性情報

急性毒性：
経口：

LD50(oral/rat)	:	1600mg/Kg	(RTECS) ジクロロメタン
LDLo(oral/human)	:	357mg/Kg	(RTECS) ジクロロメタン
LDLo(oral/human)	:	143mg/Kg	(RTECS) メタノール

吸収される。
吐き気、嘔吐をおこす。
嘔吐すると、吸引のおそれがあり、吐瀉物を吸引すると、肺に障害をおこすおそれがある。

吸入：

LC50(inh./rat)	:	88mg/l	(30min) (IUCLID) ジクロロメタン
LC50(inh./rat)	:	85.26mg/l	(4h) (IUCLID) メタノール

吸収される。

経皮：

LD50(dermal/rat)	:	> 2000mg/Kg	ジクロロメタン
LD50(dermal/rabbit)	:	ca. 17100mg/Kg	メタノール

吸収される。

皮膚刺激性：
わずかに刺激する。
継続的に接触した場合、皮膚は脱脂され炎症をおこすおそれがある。

眼刺激性：
わずかに刺激する。
角膜混濁のおそれがある。

感作性：
データなし

生殖細胞変異原性：
染色体異常試験：陰性　　　哺乳動物細胞を用いた試験 (in vitro) (NTP)
ジクロロメタン

AMES試験：陽性　　ネズミチフス菌を用いた試験
ジクロロメタン
小核試験：陰性　　哺乳動物細胞を用いた試験 (in vivo) (IUCLID)
メタノール
AMES試験：陰性　　(IUCLID)
メタノール

発がん性：
データなし

生殖毒性：
データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露：
データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露：
データなし

吸引性呼吸器有害性：
データなし

追加情報：
吸収した場合：
大量の場合：中枢神経障害、眠気、目まい、血圧低下、心臓不整脈、呼吸低下、酩酊、意識不明、昏睡、呼吸器麻痺、アシドーシス、頭痛、視力障害、失明、痙攣、興奮をおこす。

その他の有害性：
肝臓、腎臓、心臓に障害をおこす。
視神経の不可逆的障害をおこす。

その他：
毒性に関する量的なデータはない。
脂肪族炭化水素は一般に、酩酊、心臓血管障害をおこす。
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。
適切な安全衛生規定に従って取扱うこと。

１２．環境影響情報

生態毒性：
LC50　193 mg/l (96h) (ECOTOX Database)
ファットヘッドミノー (ジクロロメタン)
EC50　1682 mg/l (48h) (IUCLID)
ミジンコ (ジクロロメタン)
IC50　＞660 mg/l (96h) (IUCLID)
藻類 (ジクロロメタン)
LC50　15400 (96h) (ECOTOX Database)
ブルーギル (軟水) (メタノール)
EC50　＞10000 mg/l (48h) (IUCLID)
ミジンコ (メタノール)

残留性・分解性：
生分解性　5～26% (28d) (ジクロロメタン)
OECD TG 301C
生分解性　99% (30d) (メタノール)
OECD TG 301D
BOD　600～1120 mg/g (5d) (IUCLID) (メタノール)
COD　1420 mg/g (IUCLID) (メタノール)
ThOD　1500 mg/g (メタノール)

生体蓄積性：
データなし

移動性：

log Koc　　1.00 (ジクロロメタン)

PBTアセスメント :
化学的安全評価が不要または実施されていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

その他 :
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物 :
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装 :
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号 : 3316
品名 : CHEMICAL KIT
クラス : 9/III

安全対策 :
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

ジクロロメタン
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第1種指定化学物質　　政令番号 : 186
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 : 優先評価化学物質
労働安全衛生法第57条の2 : 通知対象物質
労働安全衛生法第57条 : 表示対象物質
労働安全衛生法特化則 : 第2類物質

メタノール
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 : 優先評価化学物質
労働安全衛生法第57条の2 : 通知対象物質
労働安全衛生法第57条 : 表示対象物質
労働安全衛生法有機則 : 第2種有機溶剤等

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい